

2004.11.02 IODP 部会事務局

日時：平成16年10月19日（火） 12:00～14:00

場所：海洋研究開発機構東京事務所

出席者：執行部 徳山・荒井・井龍・加藤・木戸・木村・斎藤・徐・巽
事務局 山川・西川

【会員提案型活動経費について】

- ・事務局より、募集が開始されたことが報告された。締め切りは11月5日。

【専門部会・国際パネル対応について】

- ・10月13日実施の地球内部・地球環境・地下圏微生物専門部会の報告がなされ、11月のSSEPs会議への対応が検討された。特に、共同議長のローテーションについて、日本側の候補者の検討と、米国・欧州側との調整が必要。
- ・今後のIODP航海の共同主席研究者候補については、地球内部・地球環境・地下圏微生物専門部会で検討中。候補者は今月末のSPCに間に合うように提案される予定。
- ・事前調査検討専門部会について、現在IODP事前調査にかかる諸課題（JAMSTEC深海調査研究への対応、事前調査費の確保等）への問題に、これまで以上に積極的な対応が必要との認識。今後、金田専門部会長と徐執行部員で調整の上、早急に事前調査検討専門部会を開催する。専門部会の任務の明確化が必要。
- ・12月EPSPの事前打合せを兼ねて、11月上旬に環境保護安全専門部会を開催する。
- ・環境保護安全専門部会では、掘削による地下圏生物への影響も検討必要（地下圏微生物専門部会（北里専門部会長・山本副専門部会長等）との協力が必要）。
- ・次回SPCをもって、加藤委員が退任することが確認された。今後後任委員の人選を進める（まずは第1候補者にコンタクトを取る）。

【国際対応について】

- ・木戸執行部員より、IODP E&O Meetingの報告があった。
- ・IODP National Office Meetingへの対応について検討された。本会議には徳山部会長と荒井執行部員が出席する。資料作成は、両出席者と事務局が、斎藤前部会長補佐の協力を得つつ準備を進める。
- ・日本の乗船枠のアジア研究者への提供については、J-DESCの意向もあるが、MEXT、IODP-MI等の関係する問題であるため、慎重な取扱いが必要と認識（本件については、SPC事前打合せの際に、徐執行部員が話題提供し、意見を求めた）。来年度（JR号）以降、日本との共同研究の形を取れば、乗船を認める方針。各国 National Officeには、J-DESCから説明の文書を発信予定。
- ・IODP-MIの日本側理事の交代について確認された。斎藤理事（東北大）・木下理事

(JAMSTEC) が退任し、長尾氏(東海大)・末廣氏(JAMSTEC) が後任理事となる。
また、代理理事は松林氏(産総研)と高橋氏(九州大)。

【広報関連】

- ・ AGU(12月)については、木戸執行部員と事務局で対応を検討する。
- ・ 合同学会の「掘削セッション」申込準備を進める(徐執行部員対応)。本セッションは、国際セッションとする。
- ・ 山形大 Jordan 氏から、来年度山形で開催予定の国際研究集会「Neogene Polar Diatoms in Yamagata」への協力要請について、山形大(または Jordan 氏)が J-DESC 会員となり、会員提案型活動経費を申請するよう勧めることが確認された。なお、この国際研究集会に対し、J-DESC としては要請があれば、IODP の説明を行うなど、積極的に協力する。

【IODP 乗船研究関連】

- ・ 乗船研究旅費の手当てにつき、今年度中は以下のとおり旅費を支給することが確認された。

海外：IO から出席要請のある航海、事前・事後集会等については、研究者からの「研究支援申請」に基づき、JAMSTEC/CDEX が負担。学生・院生は、IFREE 実習生として受け入れる。なお、これらの手続きにかかる書類の取りまとめ等は J-DESC 事務局が実施。

国内：必要に応じ、海洋研が負担する。

- ・ 乗船マニュアル・co-chief マニュアルの対応状況について、荒井執行部員から説明があった。原則として、共同主席研究者に配布し、各航海に即した形に適宜書き換え、乗船研究者に配布してもらう(J-DESC は、各改訂版を保管)。既に、NA-I, II、CC-I, II については共同主席研究者へ配布済み。
- ・ NA-II の追加乗船研究者として、北大の荻野氏(ナノ化石専門)を推薦した。
- ・ 乗船研究者の各国枠の取扱につき、各国(各 IO)の考え方を整理する必要がある(荒井執行部員が各 IO に照会する)。今後 MEXT 等にも確認・調整する。

【その他】

- ・ 10月以降の IODP 部会執行部の運営方針について、今年度中は現体制を維持することが確認された。
- ・ 引き続き、徳山部会長の後任部会長の人選を進める(WG 長：木村執行部員)。
- ・ 新部会長及び新執行部(05年4月以降)への引継ぎは、年明け1月以降に順次進める。
- ・ 次回執行部会は SPPOC 事前打ち合わせの日を開催する。